

NEW中央小学校のスタートです

掛川市立中央小学校長 金原義明

本校は、掛川市街地西半分とその南部に広がる郊外が分離統合に伴って一緒になった学区です。旧市街地には商店街があり、郊外は開発が進んで新興住宅地・マンションなどに変わりました。県営住宅等には外国人の入居者が多いのも特徴です。両地域の文化も異なり、価値観も多様で複雑化していますが、南部に地域学習センターが建設されたり、旧市街地では祭りや地区行事等の伝統を守る働きも積極的に行われたりして、地域の活性化策が図られています。

児童は、明るく素直で様々な活動に前向きに取り組む子が多く、保護者・地域の方々の学校に対する期待も大きく、授業への協力等は積極的です。

なによりも、54年間お世話になった校舎が、昨年8月に新校舎として生まれ変わり、本年度8月には運動場を含めすべての工事が終了し、NEW中央小がスタートしました。木のぬくもりが感じられる開放的な校舎で各教室には最新のICT機器が設置されています。また、通級指導教室『心の鐘』が新設され、外部からの専用出入口を始め、充実した設備が整えられました。

見方を変えればきつとうまくいく！特別支援教育のリフレーミング

リフレーミングとは、別のフレームで子どもや状況を捉えなおすことです。校長日より“守破離”に掲載した子どもへの支援のポイントを紹介します。

アキラ君…先生、僕はB君のことが許せない！！

先生…すごく怒っているんだね。

アキラ君…怒っているなんてもんじゃない！これはいじめだ！B君が「あっち行け」って言いながら蹴ってくる。

先生…仲良くしようと思って行ったのに、嫌な思いをしちゃったね。B君と話してみようか。

アキラ君、何が嫌だったか、思っていることを、B君に言ってごらん。

アキラ君…B君と遊ぼうと思って行ったのに、「あっち行け」って言われて、蹴られたのが嫌だった。前にも、B君は、僕に暴力をふるった。

(B君の表情が険しくなる)

先生…アキラ君、待って。順番に話していくから、前の話は置いておいて今の話をしよう。

B君…だって、アキラ君。いつもギャアギャア叫びながら、ぶつかってくるんだもん。

先生…B君は、アキラ君が大きな声を出しながら、ぶつかってくるから嫌だったんだね。

B君…うん。

アキラ君…僕は、休み時間になったから、一緒に遊ぼうと思って、誘いに行っただけだよ。

先生…なるほど。B君は、大声でぶつかって来たのが嫌だったんだね。アキラ君は、誘いに行っただけなのに、

断られて蹴られたのが嫌だったんだね。(双方、うなずく)

先生…どうしたらいいかなあ。

アキラ君はやんちゃ盛りの小学4年生。高機能自閉症と診断されていますが、保護者の要望もあって、通常学級ですべて担任一人がアキラ君に関わってきました。子ども同士の接触も多く、友達との揉め事が起こることもしばしばです。そこで、『子どもたちの気持ちを満足させるコツ』は、上手に「聞く」ことです。アキラ君への支援のポイントは、①問題を把握(整理)する：今、お互いの間で問題になっていることは何なのか。それぞれ、何がイヤだったか一緒に確認して整理していく。②能動的に聞く：「そうかそうか」「ふんふん」と受動的に聞くだけでは、相手の子と揉めているときは、どちらにも不満を残します。相手に気持ちを100%向けて、話し手の内部に含まれている本当の思いを聞き、話し手にフィードバックさせることが大切です。その方法としては、①繰り返す ②言い換える ③気持ちを汲む です。

中央小 心の鐘教室（発達） 紹介



平成29年度、新校舎の落成とともに、掛川市で2つ目の「心の鐘教室」として新設されました。「この恵まれたピカピカの環境にふさわしい教室にしくちゃ！」と、日々奮闘しています。

★玄関のガラス戸には「心の鐘」の文字が入っています。指導室・観察室・執務室の他に、放課後になるとワークスペースも使えます。



担当も思わずむきになる活動3

1 「なんじゃもんじゃ」ゲーム

- ・12のキャラクターに好きな名前を付けます。そのキャラクターが出たら、いち早く名前を言うゲームです。大声で叫んですっきり、担当も大興奮。
- ・もじもじゃ・パーマ
- ・髪の毛ブリブリ
- ・緑のキャラクターに子どもがつけた名前です。



2 周りをよく見る「缶蹴りならぬ、段ボール蹴り」

- ・狭い場所でできます。短時間で鬼を交代します。いつ、誰が段ボールを蹴るか、目配りや手ぶりで伝えるところがポイントです。

3 体と心をぶつける充実感

- ・小2相手ならばまだ負けない「相撲」、親も担当もみんなでごろごろ「丸太転がり」

学習困難に対して使ってるもの3

1 学習の困り感を理解するために、標準化された検査としてよく使っています。

- (1) 担任や保護者などが印をつける形式。
 - ・「旭出式社会適応スキル検査」 (社会スキルの獲得度合)
 - ・「LDI-R」 (LDの可能性の有無)
- (2) 担当が検査を行う形式。特に資格は必要ない。
 - ・「ウラウス」 (文字を書く速度や正確性)
 - ・「STRAW」 (平仮名・片仮名・漢字の読み書きの正確性)

2 書きやすい鉛筆

マスからはみ出たり、読みにくい文字を書いたりしてしまう児童には、太軸の2B鉛筆や、三角軸で0.9mmのシャープペンシルを使うことを勧めています。

3 ICT活用

全ての学級や特別教室に、プロジェクター付きのホワイトボードが設置されています。校内では、電子教科書を使用するなど、ICTを活用した授業が行われています。

通級でも「デージー教科書」「MIM」「国語・算数のアプリ」「パワーポイント」で作成したSST資料などを使って指導しています。

心の鐘教室・合同行事

★2教室合同で、「保護者学習会」や「お楽しみ会（砂遊びやグランドゴルフ大会）」を行っています。保護者も子どもも、とても楽しみにしてくれています。

掛川市通級指導教室通信

★平成29年度から「掛川市通級指導通信」を発行しています。4つの通級指導教室（言語2・発達2）の理解推進のために、市内の保幼小中、療育機関に配布しています。